医療哲学

有田　幹雄　　非常勤講師
志波　充　　非常勤講師
西村　賀子　　非常勤講師

４年次前期・選択
１単位・１５時間

【概要・目的】

一人一人が思い描く「よい看護」のあり方は一様ではないが、理想の看護の根底にはかならず患者の人権を尊重する姿勢がある。患者の人権を尊重するとは、医療の具体的な場面でどういうことなのか？　それをいっしょに考えていくのが、医療哲学である。なぜなら、患者の人権を守るためには、医療者は倫理を守らなければならないからである。科学的な知識・論理と看護技術ももちろんだいじだが、それらを最大限に活用し患者に真に寄り添う看護を実現するには、医療に関する哲学的考察とそれに基づく倫理的実践は不可欠である。倫理と論理は車の両輪のようなもので、どちらか一方が欠けると、「よい看護」にはならない。すでに看護実習を体験し現場に出ることを目前に控えた４年生だからこそ、理想の看護実践の実現のために医療哲学をきちんと考えられる。そしてまた、その必要もある。個々の具体的な事例に沿って、いっしょに考えていこう。

【到達目標】

1）患者の人権を尊重する
2）医療に関する哲学的考察をする
3）医療に関しての倫理的実践をすることができる

【授業内容・スケジュール】

	（担 当）
1）医療の場で２つの方法のうち、どちらかを選ばなければならないとき、どんな根拠で１つを選べばいいでしょうか。	志 波
2）医療の場で嘘をついても許されることがあるでしょうか。	志 波
3）「風邪は万病のもと」について	有 田
4）医療におけるファクトとフェイク	有 田
5）臨床の場における医療は１００％正しいか？	有 田
6）人口はひたすら増え続けるのか	有 田
7）人間の体って何だろう？—身体観は時代によって違う	西 村
8）誰も知らないから人間はいろいろ考えてきた—死んだらどうなるの？	西 村

【評価】

レポート（80%）、授業への参加状況（20%）

【教科書】

特になし

【推薦参考図書】

【その他】